



今、オフィスは所有から利用へ

WeWork が本社移転先に選ばれる理由

大小問わず様々な規模の企業で、本社をWeWork へ構えるケースが定番となりつつあります。

なぜ、WeWork が本社利用に適しているのでしょうか？

経営者・総務担当の皆様の声をもとに、WeWork が本社機能移転で選ばれる理由をご紹介します。

wework

目次

WeWork を本社として利用する需要が増加	3
経営者・総務担当者に聞いた WeWork を本社移転先に決めた3つの理由	4
新時代の働き方を実現する WeWork のオフィス環境	5
WeWork のワークスペース例	6
WeWork を本社移転先に選ぶメリット	
① オフィスの総額費用を削減	7
② 柔軟な契約で、将来のリスクを軽減	8
③ ワンストップサービスで、移転の手間を軽減	9
本社利用での人気の組み合わせプラン	10
本社利用の事例	
① 株式会社クックパッド	12
② ギークス株式会社	13
③ Mipox 株式会社	14



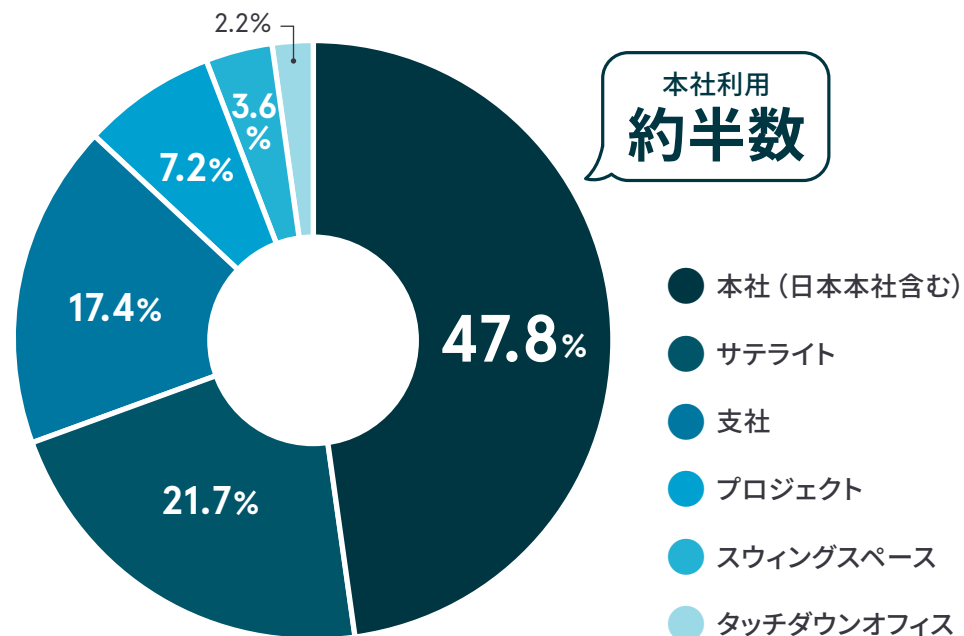
WeWorkを本社として利用する需要が増加

新型コロナウイルス感染症の流行により、働き方の見直しが進み、オフィス運用方法の再検討が企業にとって重要な課題となりました。

今後の見通しが立てづらい近年では、その時々状況に応じて柔軟なオフィス運用ができるWeWorkを本社として利用する需要が高まりつつあります。

WeWorkを利用する企業にWeWorkの利用目的に関するアンケートを実施したところ、回答が得られた144社の企業のうち、本社利用を目的として入居している企業は約半数にのぼりました。

WeWorkの利用目的



WeWork Japan 入居企業対象アンケート
アンケート調査実施時期：2021年6月5日～6月21日
回答数：144

経営者・総務担当者に聞いた WeWork を本社移転先に決めた3つの理由

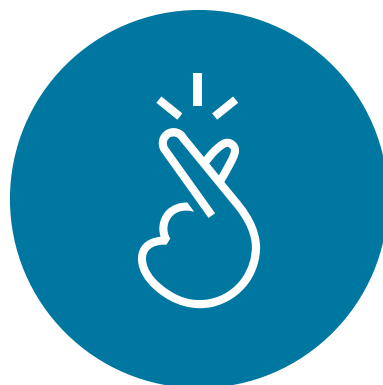
1



コスト削減

内装工事費や原状回復費といったイニシャル費用を抑え、オフィス費用の総額を削減することが可能です。また、掃除や備品の管理などの総務業務を WeWork が対応することで、業務量や人件費の削減ができます。

2



柔軟性

最短1か月からの契約が可能です。入居後も、採用計画や働き方に合わせてレイアウトを変えたり、オフィスサイズを拡張・縮小することが容易なため、無駄のないオフィス運用が実現できます。

3



カルチャー醸成

WeWork の開放的な空間は、他の入居企業とのコラボレーションや、成長を加速させるイノベーションが生まれやすく、オープンな企業カルチャーの醸成が実現できます。

新時代の働き方を実現する WeWork のオフィス環境

オフィス出社とテレワークを組み合わせたハイブリッドワークや、そのときの仕事内容に合わせて従業員が好きなワークスペースを選べるアクティビティ・ベースド・ワーキング (ABW) などの柔軟なワークスタイルが新時代の働き方の主流になるにつれ、従業員満足を向上させるオフィス環境がより一層求められます。



複数拠点が利用可能

自宅や本社だけでなく、自宅や取引先の近くなど、複数の WeWork 拠点を活用することで、従業員ひとりひとりに合わせた働き方が実現できます。



生産性が向上する多彩なスペース

創造性を掻き立てる開放的な空間から、集中力を高める1人用のブースなど、目的に合わせて使い分けられる最適な環境を完備しています。



アメニティの充実

コーヒーやビールなどの充実したアメニティは、従業員や他の入居メンバーとのコミュニケーションを活性化させます。

WeWorkのワークスペース例

働きやすく生産性を向上させる多種多様なワークスペース環境を完備しています。

共用エリア



専用オフィス *1



会議室 *2



電話ブース



パントリー



ウェルネスルーム・ペアレントルーム

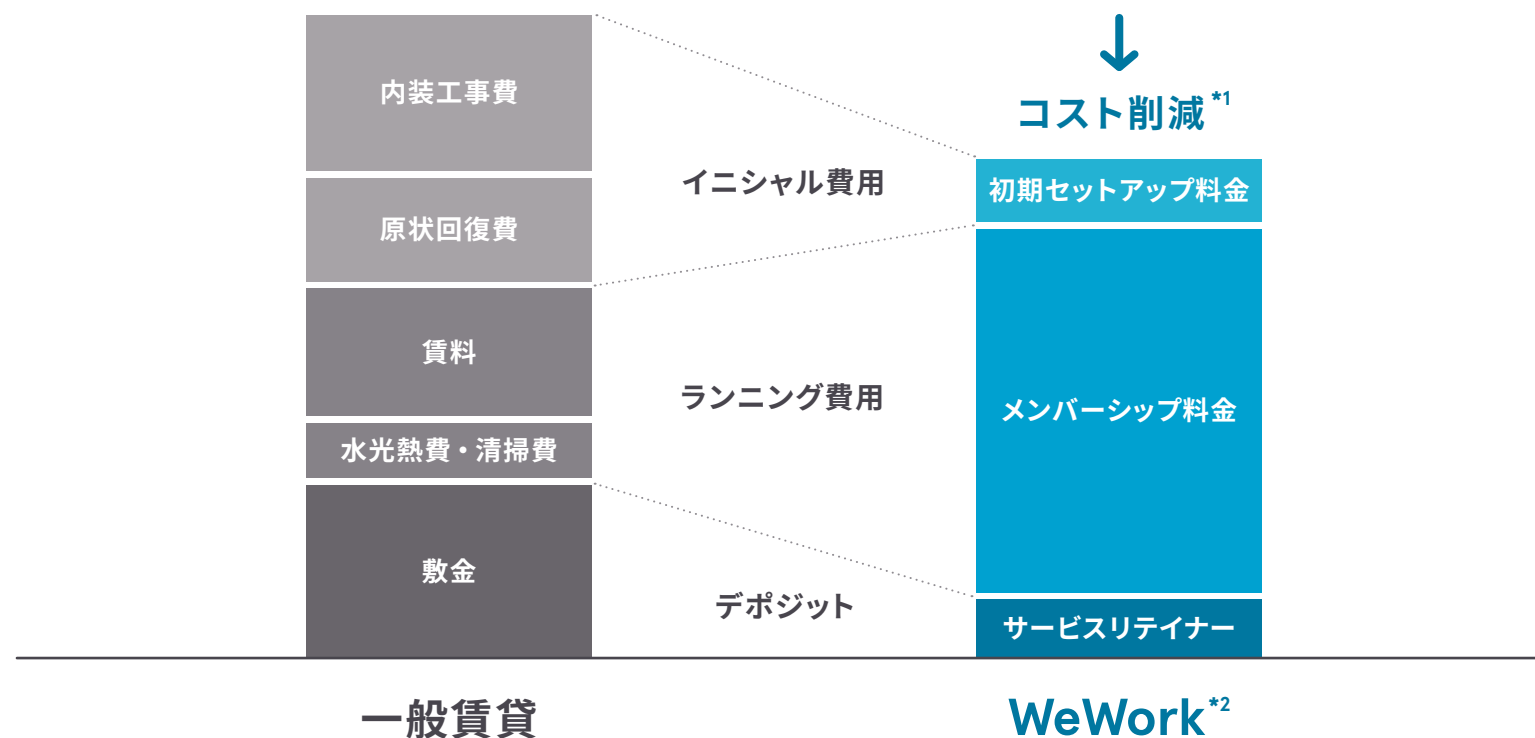


*1 専用オフィス契約の場合。 *2 会議室は毎月付与するクレジット（ポイント）を消費して予約できます。

WeWorkを本社移転先に選ぶメリット①

オフィスの総額費用を削減

イニシャル費用（内装工事費・原状回復費）を抑え、オフィス費用を大幅削減。
特に数年ごとで移転・拡張する場合、費用削減効果は大きい。



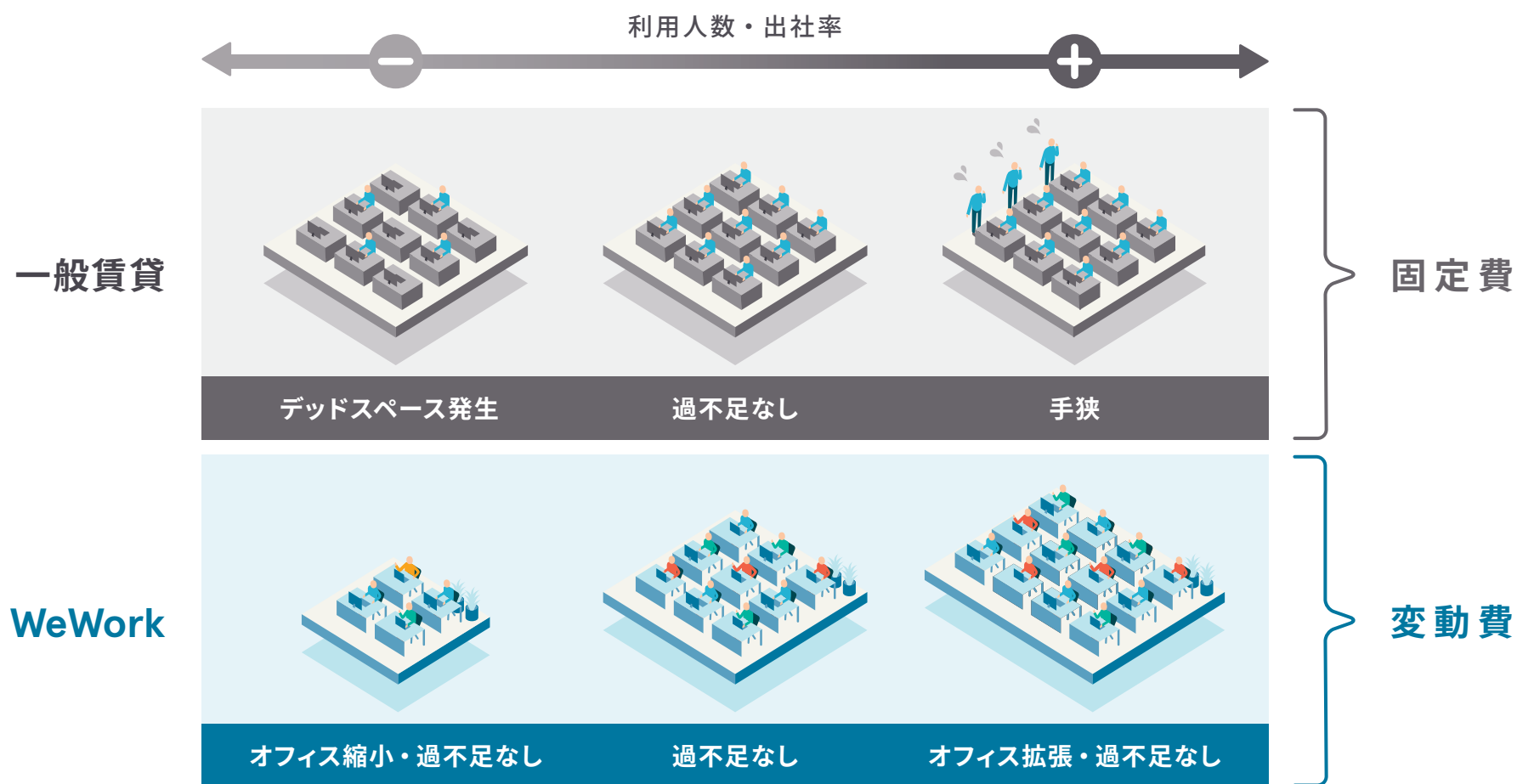
*1 お申し込みのプランやご利用条件などによって、削減の規模は変わります。

*2 内装のカスタマイズをする場合、入退去準備期間中の賃料や原状回復費がかかる場合があります。

WeWorkを本社移転先に選ぶメリット②

柔軟な契約で、将来のリスクを軽減

月単位・人数単位で契約できるので、利用人数や出勤率が変わるタイミングで、オフィスの拡張や縮小が可能。*



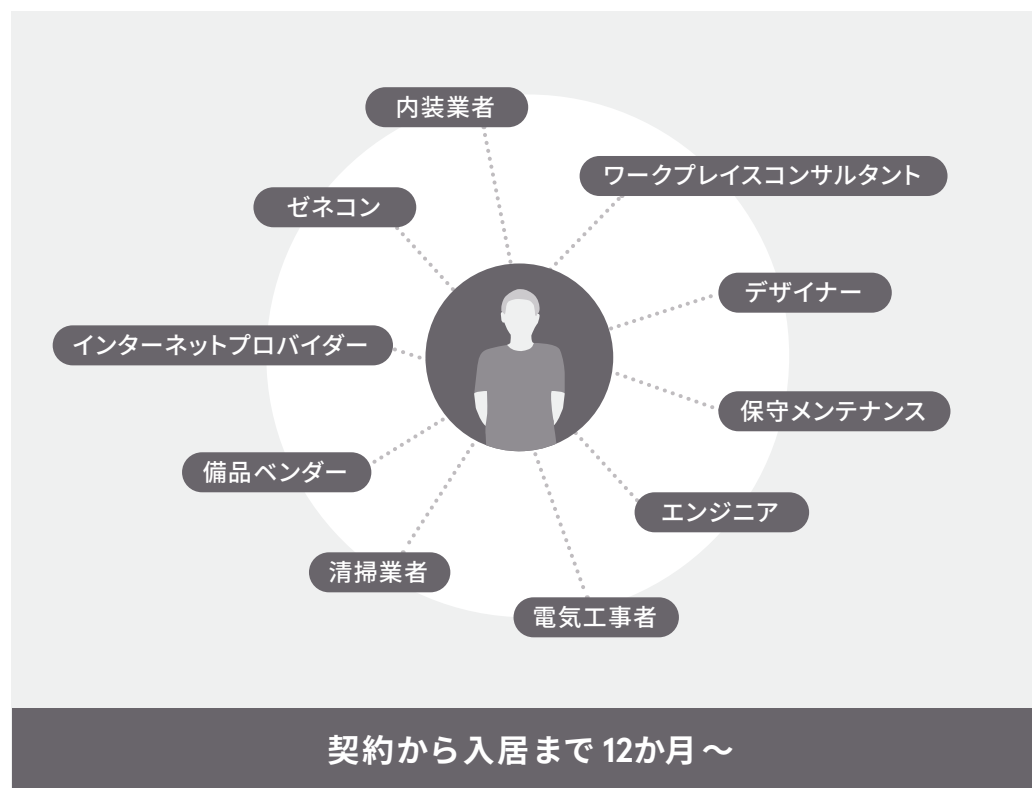
* 専用オフィスの空室状況により、ご要望に添えない場合がございます。

WeWorkを本社移転先に選ぶメリット③

オフィス開設・移転時の手続きを一元化

オフィス開設・移転に必要な手続きを、一括でWeWorkが対応。

複数ベンダーとのやりとりが不要で、通常は1年以上を要するオフィス開設・移転が最短数日で完了。



一般賃貸



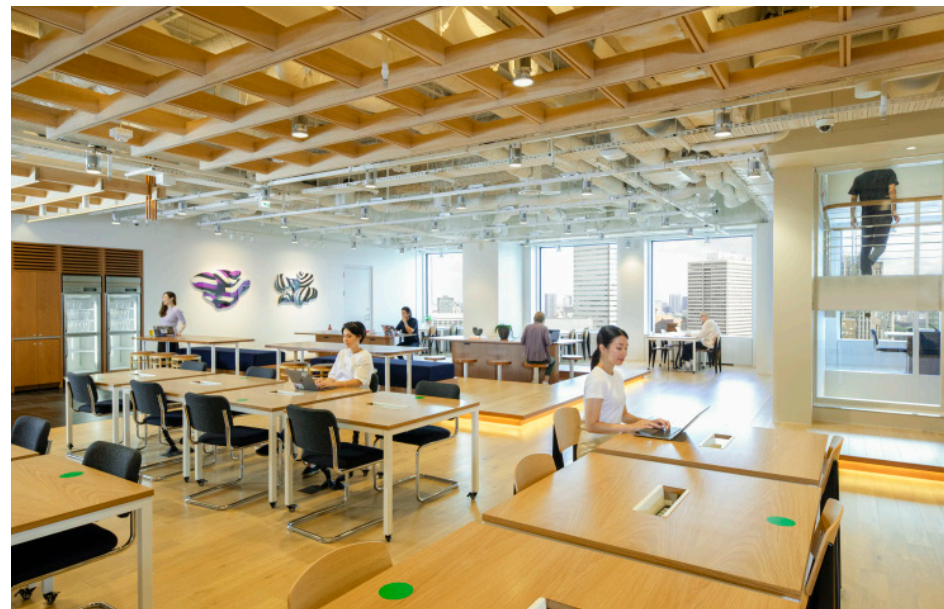
WeWork

本社利用での人気の組み合わせプラン

大規模な本社利用にも柔軟に対応できる『専用アクセス』と『オールアクセスプラス』を組み合わせたプランが人気です。



本社に最適な『専用アクセス』



サードプレイスに最適な『オールアクセスプラス』

- ✓ 専用の個室オフィス
- ✓ 契約席数 < 利用人数 (例: 本社100席を、従業員300名で利用)
- ✓ 本社サイズを最小限に抑えることが可能。
- ✓ 出社率の変動に合わせ、最短翌月から拡張・縮小も。

* 利用人数や利用時間、料金などはお問い合わせください。

- ✓ 全国7都市 約40拠点の共用エリアを利用可能。
- ✓ 光が差し込む、開放的な空間。
- ✓ 高速 Wi-Fi やセキュリティ、フリードリンクなどを完備。
- ✓ Web 会議や集中タイムに適した電話ブースも。

本社利用の事例



事例① 株式会社クックパッド



課題

- ミッションである「毎日の料理を楽しむにする」の実現を目指して新事業を展開する中、旧オフィスの一部設備が老朽化。従業員数も増加し、新たなオフィスが必要に。

入居目的

- コロナ禍でフルリモートにシフトしたものの、業務内容やチームによっては「集まれる場所」が必要であり、本社を再び機能させるため。
- そのときの意思決定や季節柄のニーズに応じて、オフィスの拡張が容易にできるため。

選んだプラン

- 『専用オフィス』+『オールアクセスプラス』
リモートワークでも生産性の維持できる週1出社の部署 150 名に対し、『オールアクセスプラス』を付与し、各自が使いたい WeWork 拠点を利用。

入居後

- 現在は多様な出社スタイルに適した環境を用意。
眺めや空間の作りがよく、従業員が「集まりたくなる場所」として機能。

事例② ギークス株式会社



課題

- これまでは事業拡大に伴い、数年に一度のペースで本社移転を実施しており、そのたびに、膨大な労力とコストがかかっていた。

入居目的

- 今後の事業規模の変更によって、オフィスサイズを調整できる柔軟性があるため。
- さまざまな企業との交流を通じて事業シナジーやイノベーションが生まれやすい環境があるため。

選んだプラン

- 『専用アクセス』+『オールアクセスプラス』
オフィスワークとリモートワークを選択肢として両立させていくうえで、座席をシェアすることで出勤率に応じたオフィス運用が可能となり、最小限のオフィススペースを最大限に活用。

入居後

- ハイグレードビルに入る綺麗なオフィスで、自社スペース以外にも多様なワークスペースや環境が充実していることで、従業員や顧客にとって満足度の高い空間を実現。

事例③ Mipox株式会社

mipox



課題

- 製造業は工場という必要不可欠なアセットがあり、柔軟な対応や身軽な経営を行うことに課題があった。

入居目的

- アセットライトな経営を目指す上で、本社の「機能」と「コスト」のバランスを取るため。
- 製造業は「カたい」雰囲気になりがち。心理的・物理的壁を取り払い、従業員のマインドやビジネスの柔軟性を高めるため。

選んだプラン

- 『専用オフィス』+『オールアクセスプラス』
全国のWeWorkが利用できる『オールアクセスプラス』を従業員に付与し、特に営業メンバーが積極的に各地のWeWorkを活用。

入居後

- WeWorkのオープンなカルチャーにより、形式的な「カたい」コミュニケーションが減り、従業員のマインドに良い変化が出てきた。
- 営業やバックオフィス機能がある本社をWeWorkにしたことで固定費を削減、アセットライト経営に弾みがついた。

Thank you.

オンライン相談・お見積り・内覧予約はこちら



nmdjapan@wework.com



050-1742-2028

まずはお気軽にご相談ください。オンラインでの内覧、お見積もりのご相談も受け付けております。

wework